

# 大富中通信 桜桃

東根市立大富中学校だより

第 1 号

令和3年5月11日

新年度の  
ごあいさつ  
校長 片桐 清



満開の桜とともに新年度を迎え、日一日と新緑がまぶしい季節へ移り変わってまいりました。この度、縁あって大富中学校校長を拝命いたしました片桐清と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ令和3年度の大富中学校がスタートしました。今年度は34名の新入生を迎え、全校生132名での船出になりました。生徒一人一人が、大きな夢と希望を抱き元気に一步を歩みだせたことを大変うれしく思っています。

一方で、本県における新型コロナウイルス感染拡大は予断を許さない状況にあります。残念ながら入学式は規模縮小、3学年の修学旅行は秋に延期いたしました。しかし、今後計画している様々な学校行事はやり方を工夫して、できる範囲で実施していきたいと考えています。そのためにも、三密の回避やマスクの励行、換気や手指の消毒など日頃の感染予防対策はしっかりと取り組んでまいります。

昨今、学校現場は大きな変革期を迎えています。この4月、学校教育活動の根幹を成す「改訂学習指導要領」が全面実施されました。予測不可能な時代を生きる生徒たちが未知の状況にも対応できる資質・能力の育成を目指し、GIGAスクール構想の展開と合わせて、新しい授業づくりが求められています。

また、その改定内容に、「地域に開かれた教育課程」があげられています。つまり、生徒が地域と繋がりながら学びを進めることで、自らの力で人生や社会をよりよくできるという実感を持たせ、変化の激しい社会においても、生徒が困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力を身に付けさせようということです。

本校はこれまでも、ボランティア活動や地域行事への参加など、地域との連携が十分進められてきたことは承知しています。しかし、今後更に、学校が地域と連携・協働した教育活動を充実させることが求められているものと考えております。

そうした意味で、これからも本校は「地域と共にある学校」を目指して参ります。保護者の皆様、そして地域の皆様にはこれまで以上の、ご支援ご協力、そしてご指導賜りますようお願い申し上げます。

# 入学式（4月7日）校長式辞より

暖かな日差しに春の息吹が感じられる佳き日に、本校第75回入学式を挙行できましたこと、関係各位に感謝申し上げます。

さて、本日の入学式は規模を縮小しての開催となりました。本来であれば在校生も一緒に、そして大勢の御来賓をお招きし、みなさんの入学を祝福したいところでしたが、このような開催になりました。みなさんの健康や安全を考慮しての判断であり、入学生、そして保護者の皆様には、ご理解頂きたいと存じます。ただ、規模縮小とはなりませんが、在校生や地域の方々の思いは校内に飾られた装飾やメッセージから伝わってきます。みなさんの入学を多くの方々が祝福しています。さて34名の新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございませう。皆さんは、今日から、いよいよ大富中学校の生徒です。

そこで、中学生としての第一歩を歩み始める皆さんに、3つのお願いをします。

1つ目は、「しっかり勉強する」ということです。

なんといっても中学校は学習の場です。毎日の授業を大切に、中学生としてふさわしい知識、技能を習得し、深く考え、正しく判断し、豊かに表現できる力を身に付けてください。もちろん、「学ぶ」ということは、授業だけではなく、生徒会活動や部活動、運動会や文化祭などの学校行事への取り組みも大切な学びの場です。様々な活動を通し、人間として豊かな生活を送るための知恵をしっかり身につけてください。

2つ目は、「思いやりの気持ちを持つ」ということです。思いやりとは、ただ単に「優しい」とは違います。大切なことは、相手の立場にたって物事を考えるということです。中学校生活では、様々な個性を持った仲間や先輩方、そして先生方と共に活動したり、地域の方々と交流したりする場面が増えてきます。

そんなとき、思いやりの気持ちを持って行動できる中学生になってほしいと思います。

3つ目は、「ねばり強く頑張る」ということです。中学校の生活は、これまでの自分の殻を破り、新しい自分探しの時代といわれます。それは、これまで経験したことのない困難なことに挑戦したり、問題解決のために悩み続けたりする場面に遭遇するということです。もしかしたら、失敗を繰り返す、挫折しそうになるかもしれませんが、中学校生活三年間は、大人になるための素養を養う重要な三年間です。様々なことにねばり強く挑戦し、成功や失敗を経験しながら、自分自身を磨いて下さい。新入生の皆さんには「しっかり勉強し」「思いやりの気持ちを持ち」「ねばり強く頑張る」中学生になることを期待します。

保護者の皆様にも、申し上げます。

本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございませう。真新しい制服に身を包み、凜としたお子様の姿に、感激もひとしおのことと存じます。中学時代は、子供から大人へと成長する過渡期であり、心身共に大きく成長する時期です。時には、その大きな変化に戸惑い、遠回りをしながらも一步一步確実に成長していくものと確信しています。だからこそ、私たち大人は子供に対して範を示し、家庭と学校が共に手を携え、地域の皆様の協力をいただきながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切だと思っています。私たち教職員は、生徒の限りない可能性を信じ、生徒の力を最大限伸ばすよう、全力を挙げて教育活動に邁進してまいります。どうぞ保護者の皆様には、本校の教育活動の推進のために、ご理解とご支援、そしてご指導下さいますようお願い申し上げます。結びになりますが、34名の新入生の健やかな成長と、これからの活躍を大いに期待し、「式辞」といたします。

令和3年4月7日

東根市立大富中学校長 片桐 清



# 入学式 新入生代表 誓いの言葉



桜のつぼみもしだいにふくらみ始め、温かい春の日差しを感じる季節となりました。ぼくたち34名は、伝統ある大富中学校に、多くの方々の祝福を受けながら入学します。こうして、入学することができたのは、これまでお世話になった地域の皆さんやお家の方、小学校の先生、そしてここにいる仲間たち、たくさんの支えがあったからであり、心から感謝しています。

この34名の仲間で助け合いながら、充実した中学校生活を送りたいと思います。そのために、まず、授業に真剣に臨みたいと思います。1時間1時間を大切にして、課題に取り組みます。また、自分ひとりの力でできないときは、仲間と協力してチャレンジしたいです。次に、規則正しい生活を送ることを大切にしたいと思います。部活動なども始まり、いそがしくなる中学校生活でも、早寝・早起きを心がけていきたいです。そして、みんなから信頼される立派な中学生になりたいと思います。

これからの中学校生活は楽しみな気持ちがある一方で、分からないことが多い中学校生活に不安な気持ちもあります。先生方、先輩のみなさん、これからどうぞよろしくお願いします。

令和3年 4月7日 新入生代表 工藤 丈大朗

## 令和3年度 教職員の異動 転出者と転入者の紹介

このたびの人事異動で、9名の教職員が離任しました。たいへんお世話になりました。

校長	寒河江正人	東根市立神町中学校へ
教頭	小林 光夫	山形市立第八中学校へ
教諭	田中 実	退職
講師	古山 綾	退職
非常勤講師	阿部 賢太	村山市立楯岡中学校へ
非常勤講師	笹原 真紀	東根市立第二中学校へ
養護助教諭	鈴木 陽子	退職
事務補助	佐藤ひろ子	退職
スクールサポートスタッフ	平澤 厚子	退職

このたびの人事異動で、8名の教職員が転入しました。

校長	片桐 清	尾花沢市立福原中学校より
教頭	芳賀 直樹	山形県教育センターより
教諭	工藤 弘樹	新規採用
講師	石塚 紀和	村山市立葉山中学校より
講師	増川 大樹	山形市立第五中学校より
講師	中村 江里	新規採用
非常勤講師	高麗邊 幸	新規採用
事務補助	須田 康子	東根市立大富小学校より

## 新任式にて4/6



## ◇5・6月のおもな行事予定◇

### 5月

7日(金) 地区駅伝大会  
11日(火) 生徒会総会  
17日(月) 100m花壇整備

### 6月

3日(木) 地区水泳大会  
19日(土) 20日(日) 地区中総体

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事の時期、実施については変更になることがありますので、ホームページでお知らせします。

# 1年生にエール(生徒会入会式)

生徒会に1年生を迎える、生徒会入会式が4/12(月)行いました。コロナ禍を踏まえ、生徒会役員が短時間で、大富中学校の1日を寸劇で紹介し、専門委員会活動と部活動の説明をしました。

最後に、応援団が2、3年生の思いを込めてエールを送りました。中学校生活を楽しみにしていた半面、不安ものぞかせていた1年生の表情が和らいだ時間となりました。



一年生のみんな、学校の様子、分かってくれたかなあ

## GIGA スクール構想

GIGA スクール構想がスタートし、ICT を活用した授業を進めています。

学びを深めるために、授業の参考になる動画や、世界の国々を実際に見てみたり、調べたり、写真で撮影し参考にしたり、資料を拡大して見たり、等々実践しています。

現在、大富中は色々な場面でICT を活用し、生徒たちの「分かった」「もっと学びたい」につながる授業の研究中です。



こんな風に踊るのかな？いや違うんじゃない？

## 桜満開笑顔いっぱい



4/15(木)1年生が、大富中を取り囲む桜の中、学級活動の時間にクラスの交流を深めるため花見を行いました。

団子2本を手に持ち、自然に出てくる笑顔と、食べている時の満足した表情が、学校中を明るくしてくれました。

「花より団子」いや「花より話」が弾むゆったりした時の流れを、生徒と先生が共有した一場面となりました

